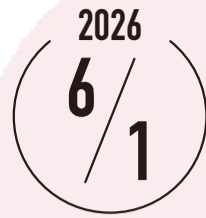




ちゅうおう



わたしの“当たり前”は



娘の育児担当は結局いつも妻…。工夫次第で分担できることがもっとあるはずだよなあ



デジタル版はこちら



Multilingual

みんなの“当たり前”



男性だったら長時間労働は当たり前なのかな？



男性と女性がそれぞれの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会。その実現には、私たち一人一人の理解と取り組みが必要です。区では、「中央区男女共同参画行動計画2023」を策定し、講座などの開催や情報誌の発行、相談事業、男女共同参画を推進する団体への支援などを行っています。

問総務課男女共同参画係
☎(5543)0651

詳しくは区HPへ



6月23日～29日は男女共同参画週間！

男女の役割

その“思い込み”は

「鎧」になっていませんか？

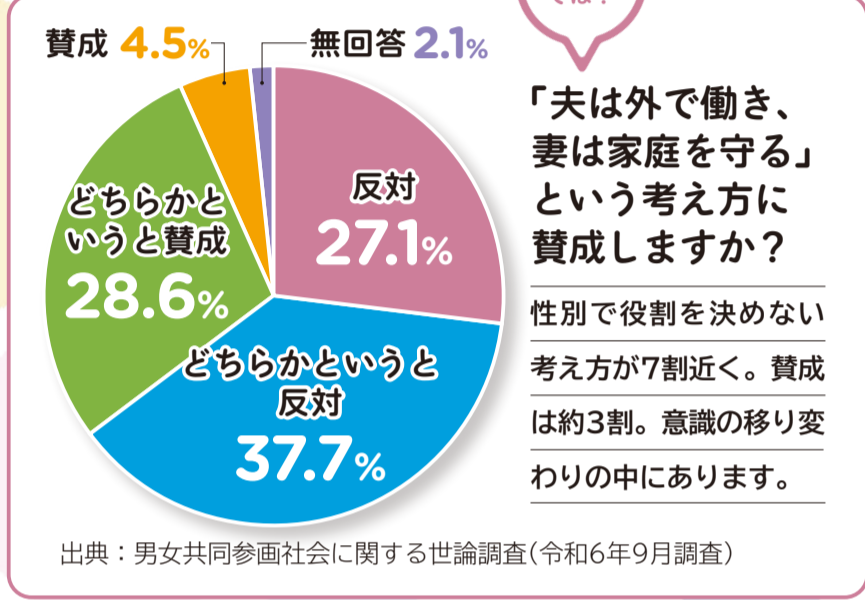
「母親が家事、父親が外で仕事」…。このような家庭環境で育った方も多いかもしれません。人は経験を通じて、「男性は〇〇」「女性は〇〇」と男女の役割に対する“先入観”を抱いてしまうことも少なくありません。こうした思い込み自体は、必ずしも悪いことではありません。しかし、言葉や態度で「こうあるべきだ」と決めつけてしまうと相手を傷つけたり、可能性を狭めてしまうなど弊害も生んでしまいます。



職場で…



「男は仕事が最優先」。育児で早帰りしたいけど、育児は母親の役割でよって周りから見られているんだよねあ…



家で…



仕事をしていても、家庭は女性が担うべきって思われている？



「自分はどう生きたいか?」「大切にしたいこととは何か?」「そこから新しい一歩がはじまります。」

「もっとあるべき」を「リセット」。

中央区ワーク&ライフバランス

日本証券金融株式会社

育児制度などを活用し、キャリアと家庭(育児)の両立をしている池田さんと、



池田さん
入社17年目 所属：人事部

Q. 育児制度を活用されたきっかけと活用して良かった点を教えてください。

池田さん：取得に関しては若干迷いがありましたが、施行1年目の「産後パパ育休」を1カ月間活用しました。人事に携わる者としての「制度を積極的に活用すべきではないか?」との強い思いと、上司から仕事面の調整など後押しして頂きながら「チームで育児制度をサポートする体制」を構築していった点で収穫も大きかったです。また、家庭内では「父親としての振る舞い方」や「家庭内の仕事の分担」をお互いで確認できたので「家事・育児をチームで回す」という基盤をつくられたのも良かったです。

Q. 仕事と家庭の両立などで変化はありましたか？

池田さん：仕事面では以前よりも「限られた時間で成果を出す」という意識が高まりました。(育児などで生じる)業務時間への影響を最小限に抑えるには、事前に社内外での情報共有が大切です。また我が家は共働き世帯なので、家庭内の役割

分担などの調整に関しては妻とよく話し合って決めています。たとえば「保育園への朝の送りは私」「迎えは妻」といった風に…。ただ、育児に関しては予定通りにはいきませんね。お互いが適時柔軟に動けるようにしています。

Q. 今後取り組んでいきたいこと(会社、家庭内)はありますか？

池田さん：人事担当として、今後は(育児の有無にかかわらず)全社員が働きやすく、パフォーマンスを発揮できる環境づくりに努めたいです。個人的には、「育児があるから仕事制限される」という捉え方でなく、マネジメントの訓練と捉えています。我が子を自己成長のための“コーチ”と見立て、自己研鑽していけたらと思っています。

会社の取り組み

- ・男性の育児参加推奨のための出産支援休暇(3日間)
- ・短時間勤務制度(小学校6年修了時まで)
- ・テレワーク推進(テレワーク用PC、スマホ貸与)
- ・時差勤務制度
- ・積立休暇制度(積立上限70日。介護や看護など取得事由を拡大)



「当たり前」を、アップデート!

男女平等センター「ブーケ21」で新たな一歩を踏み出しませんか?

私たちの周りにはまだ多くの「当たり前」が潜んでいます。男女平等センター「ブーケ21」は、そんな思い込みを解きほぐし、誰もが自分らしく生きるきっかけとなる拠点です。男女共同参画をはじめとしたさまざまな講座を実施したり、職場や家庭での悩みを専門の相談員がお受けしています。「ブーケ21」を活用して「モヤモヤ」を「スッキリ」に変えるヒント、見つけてみませんか。

学ぼう

「女性の活躍推進」や「性の多様性」、「性暴力・DVの防止」、「男性の生きづらさ」、「男性の家事育児参画」、「女性の再就職支援」など多様なテーマの講座を行い、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを行っています。



◀▲講座の様子



詳しくは
区HPへ



女性相談

職場や家庭内での人間関係や自分自身の生き方など、さまざまな不安や悩みについて、専門の相談員がお話を伺い、解決の道と一緒に考えます。一人で悩まずに、お気軽にお電話ください(秘密厳守)。

電話相談

☎毎週月曜日
午前10時～午後4時(予約不要)

電話番号(相談専用)

☎(5543)0653

面談での相談など

詳しくは区HPへ



男性電話相談

☎毎月第1・3水曜日
午後3時～8時(予約不要)

電話番号(相談専用)

☎(3495)7770



「ブーケ21」SNS相談

詳しくは特設サイトへ



SNS相談

チャットで気軽に相談できます。

☎毎週月曜日～土曜日 午後7時～9時

施設の 利用案内

情報交換や交流、学びの場としてご利用いただけます。また、男女共同参画に関する資料の貸し出しも行っていきます。

☎年末年始などを除く毎日開館
午前9時～午後9時

場湊1-1-1

利用可能施設

情報資料コーナー、交流コーナー、研修室、視聴覚室、ワークルーム



交流コーナー



視聴覚室

団体登録しませんか?

団体登録をすると、2カ月前からの施設利用申し込みが可能となり、利用料金が7割減額されます。男女平等社会の実現を目的として活動する団体は、「構成員の5割以上が女性」という要件を満たさなくても登録できるようになりました。

詳しくは区HPへ



認定企業社員インタビュー

建築業界で自分らしいキャリアを築いている脇田さん、鈴木さんにお話を伺いました。



脇田さん

入社1年目
所属：建築部

Q.入社のかっこ(建築業界を選んだきっかけ)、担当業務についてお話し頂けますか?

脇田さん：事務仕事だけでなく、色々な経験を積みたかったため、現場仕事のある業界・会社を志望しました。主な業務は現場事務所の設営準備から申請、業者さんの選定や打ち合わせ手配など…。施工管理の専用アプリの管理運用も私の担当です。

鈴木さん：「CAD(建築設計アプリ)のスキルが使える」「改修専門の建築会社」という視点で選びました。施工管理は未経験だったけど幅広い経験をたくてまずは第一歩と決意しました。団体施設や大学校舎の改修、見積書作成から業者発注、現場管理まで一貫して担当しています。

Q.仕事のやりがい。また女性ならではの視点で感じることはありますか?

脇田さん：デスクワークも多くて意外でしたが、基本的には現場で身体を動かす仕事なので、日々の生活がとても健康的です。また、現場に女性がいることで「空気」が柔らかくなるというのはあると思います。職人さんからも「手伝うよ」などと声をかけていた



鈴木さん

入社11年目
所属：CR事業部

萬世建設株式会社

だいたり、お互いに気遣い合える体制ができていくのは、一つの良さかもしれません。

鈴木さん：解体から手掛ける仕事なので建物が完成した時などは、「苦労が報われる」嬉しさがあります。男性だけの場合と比べると、女性の視点が入ることで細かなところに気づけたり、バランスが取れるようになるのかなと思います。

Q.働くことを考えている女性に一言お願いします

脇田さん：まずチャレンジしてみることが大事だと思っています。できることから踏み出す気持ちを大切にしたいですね。

鈴木さん：女性はライフステージの変化が大きい面もありますが、可能性を狭めないで、興味を持ったならトライしてみること。自分自身の軸をぶらさずマッチする会社を選ぶことが大切だと思います。

会社の 取り組み

- ・フレックスタイム制度
- ・資格取得促進のための資格手当支給
- ・育児・介護に関する相談窓口の設置
- ・時間外労働の削減に向けた工程管理の徹底